

BIM/CIM検証、関係者間の共同作業を円滑にするプラットフォーム

**【国費80億円の補助金】国土交通省「建築BIM加速化事業」に採択決定
建築BIMによる設計・建設工事に、最大9,000万円の補助**

代表事業者登録：2023年3月31日まで！ 3月7日に当事業についてオンラインセミナー開催

コンストテック株式会社（代表：石川亮太、所在地：北海道帯広市）が提供・サポートを行う BIM/CIMコラボレーション一元化ツール『Revizto(レビット)』の、国土交通省「建築BIM加速化事業」の採択が決定しました。 <https://bim-shien.jp/>（事業実施支援室 公式HP）

本事業は、中小事業者が建築BIMを活用する建築プロジェクトについて、建築BIMモデル作成費を支援することにより、建築BIMの社会実装の更なる加速化を図るものです。BIM作成に取り組む元請事業者等(意匠設計事務所・ゼネコン等)は、令和5年3月31日までにjGrants[※]を利用した電子申請にて「代表事業者」の登録^{※1}を行い、12月31日までに、3階以上・敷地面積が概ね1,000㎡以上等の建物の交付申請を行うことで、設計BIMモデル又は施工BIMモデル作成費（BIMライセンス等費、BIMコーディネーター等費、BIMモデラー費）の補助を受けることができます^{※2}。

補助金額は、延べ面積別に3段階の上限が設けられ、30,000㎡以上の延べ面積の場合、設計費3,500万円、建設工事費5,500万円、合わせて最大9,000万円の補助が可能です。



**2023年3月7日(火)
オンライン説明会**

**国土交通省「建築BIM加速化事業」
に採択決定**

**建築BIMによる設計・建設工事に、
最大9,000万円の補助**

【代表事業者登録：3月31日まで】

約150か国で数十万人以上の技術者に活用されるReviztoは、BIM/CIM検証、関係者間の共同作業・コミュニケーションの負担を大きく軽減し、建設業界のQCDSE（品質・コスト・工期・安全・環境）実務に役立てていただいています。2020年11月に日本での提供開始以降、日本においてもサービスの有用性を実感してまいりました。導入ハードルが下がるこの機会に、どこからでも2D/3Dを確認・検証し、建設案件のBIM活用をシンプルかつ効果的に進められる本サービスをご検討ください。3月7日（火）にコンストテック（株）代表 石川亮太より、BIM加速化事業の全体像、Revizto概要についてオンライン説明会でお話しさせていただきます。参加者の方からのご質問にお答えいたしますので、ぜひご参加ください。 <https://revizto.jp>（Revizto 公式HP）

※1 プロジェクト名と補助申請額の見込みも登録します(変更可)。

※2 2023年12月1日～2024年2月29日までに完了実績報告を行い、成果に応じて補助金額が決定されます。

■「建築BIM加速化事業」概要 <https://bim-shien.jp/>

- ①来年度末(R5年度末)までの基本設計・実施設計・施工のBIMモデル作成が対象です
- ②設計BIMモデルや施工BIMモデルの作成等に要する費用について幅広く補助します
- ③協力事業者(下請事業者等)だけでなく、代表となる元請事業者等も補助の対象です
→プロジェクトの代表となる事業者の登録を【2023年3月31日】までにお願ひします (その後のプロジェクト等の変更は可能)

【対象となるBIMモデル作成費】

BIMライセンス等費

- ・BIMソフトウェア利用費 (ビューワソフト、アドオンソフト の利用費、BIMモデルを利用するためのPC・タブレット・ARゴーグル等周辺機器のリース費等を含む)
- ・CDE環境(共通クラウド)構築費・アクセス費

BIMコーディネーター等費

- ・BIMコーディネーター人件費・委託費 ・BIMマネージャー人件費・委託費 ・BIM講習に要する委託費・人件費・諸経費

BIMモデラー費

- ・BIMマネージャーをサポートするBIMモデラー委託費

【延べ面積別の補助上限額】

- 1,000m²以上、10,000m²未満 → 設計費25,000千円、建設工事費40,000千円
- 10,000m²以上、30,000m²未満 → 設計費30,000千円、建設工事費50,000千円
- 30,000m²以上 → 設計費35,000千円、建設工事費55,000千円

【建物要件】

3階以上、敷地面積が 概ね1,000m²以上 等

【スケジュール】

事業者登録： 令和5年1月16日～3月31日

交付申請： 令和5年2月13日～12月31日

完了実績報告：令和5年12月1日～令和6年2月29日 ※完了実績報告までの成果に応じて補助金額が決まります。

国土交通省
「建築 BIM 加速化事業」

申請方法の全体像や
注意すべきポイントなどをご説明します

無料オンライン説明会開催

2023年3月7日(火) 13:00-13:55

Const Tech
コンストテック株式会社
代表 石川亮太

日時：2023年3月7日(火) 13:00-13:55
コンストテック (株) 代表 石川亮太より、BIM加速化事業の全体像、Reviztoの概要についてお話しし、参加者の方からのご質問にお答えいたします。

定員：500名

参加費：無料

形式：オンライン (Zoom)

詳細・申込み：

<https://revizto.jp/online-event/>

■ Reviztoのご利用に適した事業者様の一例――

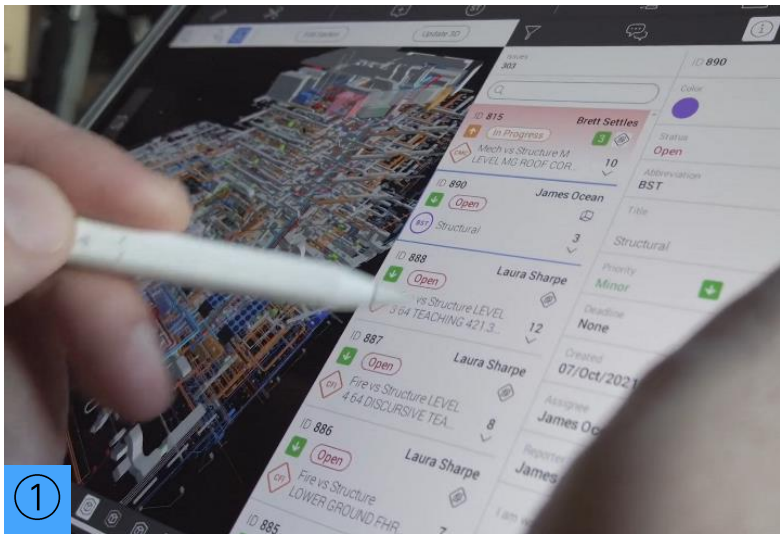
- ① BIMモデルを作成したが、検証・コラボレーションなどに活用できていない
- ② 建設作業所での活用のために、BIM運用の時間・労力のハードルを下げたい
- ③ 2D (CADで作成したもの含む) と3Dの良いとこどりをしたい
- ④ テレワーク含めた遠隔地でも、BIMの長所を活かしたチームワークを発揮したい
- ⑤ 他のBIMツールも使用しているが、プラットフォームとして一元化したい

【デモンストレーション、無料トライアル受付中】

一般のお問合せおよび報道関係者のお問合せ | Tel : 0155-66-8758 | info@revizto.jp

■ (ご参考) Reviztoの特徴

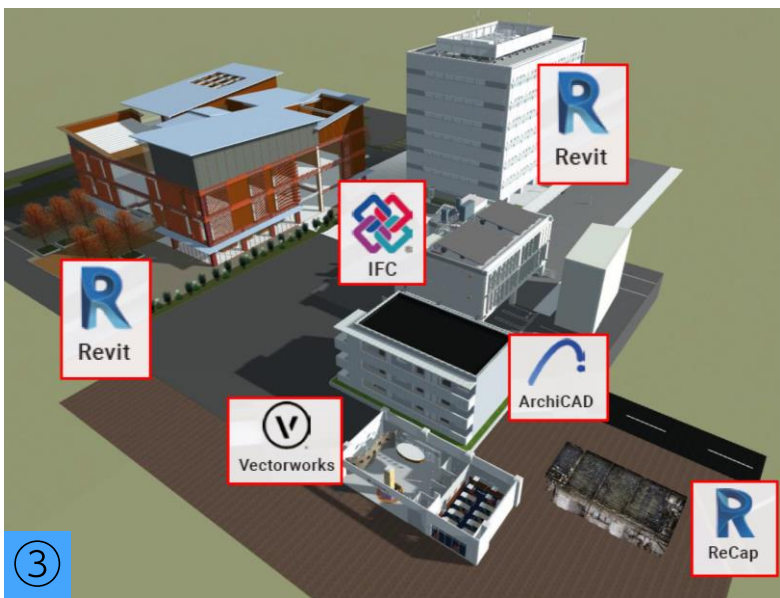
- ① ユーザーフレンドリーな操作ですぐに活用開始、BIMのハードルを下げる
- ② BIM活用のプラットフォームとして一元化できる
- ③ CDE (共通データ環境) を実現できる
- ④ クラウドを介して、いつでもどこでも即時コラボレーション
- ⑤ 建設ライフサイクルに合わせて、各種機能で実務に役立つ



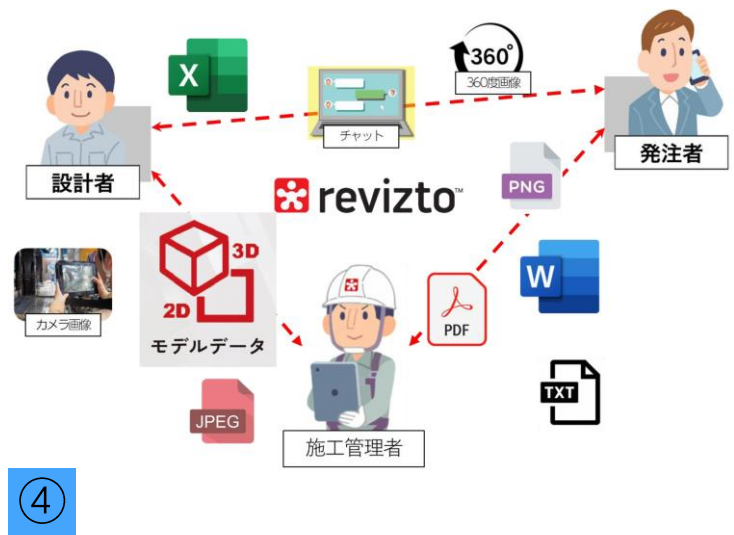
①



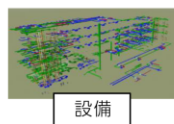
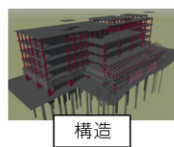
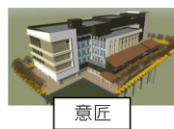
②



③



④



ビジュアル合意形成

クラウドを介したリアルタイムコラボレーション

2D・3D重ね合わせによる検証

干渉対応

施工進捗記録・保存

設計DR

5D (積算)

各種機能による検証

4D (3D+時間軸) チェック

360度画像による竣工時・FMへの活用

⑤

点群・フォトグラメトリとのBIM/CIMモデル重ね合わせ検証